

社会科における学習評価（中学校）

～「指導と評価の一体化」と「主体的に学習に取り組む態度」を育成する社会科指導～

1 指導と評価の一体化

指導と評価の一体化を実現するために、以下のことに留意して指導と評価を計画・実施していきます。

- ◎ 「評価を指導・学習改善に生かすこと」と「評価を評定に用いること」の両面を実施する。
- ◎ 「内容のまとめ（単元）」ごとに評価規準を設定する。
（すべての単位時間で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点の評価するわけではありません。）
- ◎ 社会科においては、学習指導要領に示された「内容のまとめ」は複数の内容に分かれ、その内容ごとに単元を構成するものがほとんどであり、単元ごとに単元構成や学習過程に沿った具体的な評価規準を作成する。

2 内容のまとめ（単元）における評価のイメージ

<評価例> 地理的分野 単元名「世界各地の人々の生活と環境」（全9時間）

	導入		第一次		第二次			まとめ	
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9
知識・技能	●	●		●○		●			○
思考・判断・表現			●				○	○	
主体的に学習に取り組む態度	●			○					○

●…評価を指導・学習改善に生かす場面 ○…評価を評定に用いる場面

評価においては、内容のまとめごとの評価規準を作成するとともに、生徒の学習状況を評価する場面を計画し、評定に用いる場面を精選することが大切です。

【「主体的に学習に取り組む態度」の評価について】

「粘り強い取り組み」を行おうとしている側面と、その中で「自らの学習を調整」しようとする側面を評価する。（実際の場面では一体的に見取ることもあります。）

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9
主体的に学習に取り組む態度	●			○					○

単元の導入

【評価を指導・学習の改善に生かす】

場所や自然環境に着目して単元の課題を見出したり、課題解決の見通しをもったりしている。

課題追究

【評価を評定に用いる】

単元前半の学習内容を生かしながら追究しようとしたり、場所や自然環境に関わる様々な資料から追究しようとしたりしている。
仲間の発言から自分の考えを振り返ったり、疑問に思ったことやよくわからないことから新たな追究を始めたりしている。

単元のまとめ

【評価を評定に用いる】

自然環境などに着目して、単元の学び全体を振り返り、疑問に思ったことや、さらに調べてみたいことを見出している。

<指導・学習改善の例>

- ◎ 教師による行動観察や生徒による自己評価等を参考にしながら行う。
 - ・ 導入時に、抽出した生徒の前時のまとめや振り返りを紹介し、課題解決の見通しをもつことや、自身の学習を振り返ることにつなげる。
 - ・ 資料を精選し、課題解決に結び付けやすいようにする。
 - ・ 仲間に説明したり、仲間と議論したりする時間の充実を図る。
 - ・ 問いの内容やタイミングを改善する。
 - ・ 生徒が粘り強く、自らの学習を調整できるための場やワークシート等の工夫をする。

「学ぶ喜び」につながる指導と評価の一体化

～社会科の資質・能力を育むことを目指し、「学ぶ喜び」につながる観点別の具体的な事例～

1 知識・技能

〈歴史的分野 単元名「明治維新と近代国家の形成」第8時〉

【小単元のまとめ】既習の知識を活用しつつ、明治維新の意味や意義についての概念的な知識が理解できているかについて評価した。

〔評価規準〕

明治維新が、日本の近代国家の基礎を整えていく過程であったことを理解している。

明治維新の目的とそれが果たした役割について説明できれば「おおむね満足できる」状況（B）と考えられる。

明治維新とは、列強から自分たち日本を守ることでできる十分な力のある国づくりを目指した動きだったと考えました。

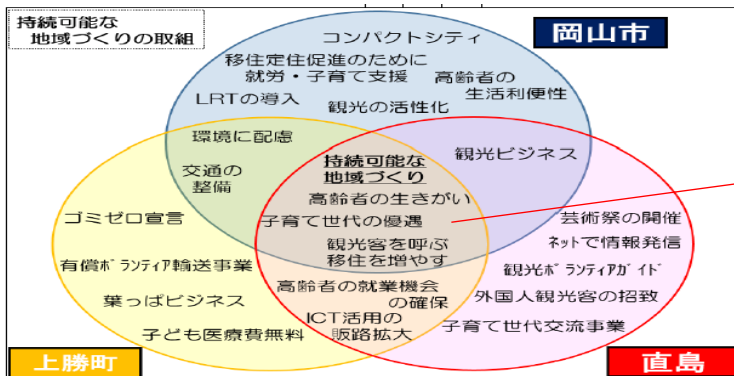
2 思考・判断・表現

〈地理的分野 単元名「中国・四国地方」第5時〉

【まとめる】中国・四国地方の各地域における持続可能な地域づくりの取組が、その地域における自然環境や産業などに関する事象と結び付けて考え、表現していることを評価した。

〔評価規準〕

中国・四国地方において、「人口減少が進み、人口の偏在が見られる中で、地域に応じた地域づくりの取組が、どのように進められているのか」を、都市部と山間部・離島の地域の広がりや各地域内の結び付き、人々の対応に着目して、特色ある自然環境や産業の様子、そこで人口の偏在や持続可能な地域づくりの取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。



【(B)と評価される生徒の具体的な例】「持続可能な地域づくりの取組」についてのベン図を作成する過程で、三つの地域で行われた具体的な取組を比較し、共通する地域的特色である「地域の実態に応じた、地域を持続させるための取組が行われていること」を見だし、中国・四国地方の地域的特色をワークシートにまとめていると判断できた生徒については、「おおむね満足できる」状況（B）と考えられる。

3 主体的に学習に取り組む態度

〈公民的分野 単元名「世界平和と人類の福祉の増大」〉

【まとめる】学習した内容やそれに関連することの中から「これからも問い続けていきたいこと（追究していきたいこと）」を挙げるとともに、その社会的意義を簡潔に記述しているか」を評価した。

（ワークシート）

【課題】世界平和と人類の福祉の増大のために、あなた自身ができることは何だろうか。これまで学んだこととあなたの身近な事柄を結び付けて解決策と行動宣言をまとめよう。

解決すべきこと（解決すべき理由）

解決策
行動宣言

「紛争やテロの問題を解決したい。全ての人々の安全保障が、わが国の安全とも深く関係していると思うので。」と書いたものは、「おおむね満足できる」状況（B）と考えられる。